


2010年12月10日



大阪大学OCW 沿革、現状、課題

竹村治雄 (大阪大学 サイバーメディアセンター)

大阪大学オープンコースウェア (OCW)

- 2005年5月13日から公開を開始
 - 日本オープンコースウェア連絡会発足と同時
 - 現在、公開5年目
 - 当初は大阪大学サイバーメディアセンターが、独自にサイト構築と運営を実施
 - 大阪大学本部、教育・情報室での議論を経て、2006年1月より、全学規模e-Learning 環境基盤整備事業の一環として、大阪大学CMCがサイトの維持・運営を担当（非常勤職員1名での対応）
 - 2010年5月サイトのコンテンツ管理システムをeduCommonsへ移行（2年以上前からテストは実施）
- 

大阪大学OCWの現状

- 現在の公開コースは45
- 映像素材は8コースで30本程度存在
 - 動画は様々な形式が存在
- シラバス、講義日程等の情報に加えて以下のいずれかの内容を含む
 - 講義資料（パワーポイントファイル）をPDF化したもの
 - オンライン学習教材（Flash等で作成されたもの）
 - 講義用インタラクティブ教材

本年4月までのOUOCW

- LAMP(Linux+Apache+MySQL+PHP) を用いた独自CMCで運用
- 管理者はWebインタフェースを用いて教材のアップロード等を実施する
- コンテンツのメタデータはデータベースに、教材自体はLinuxのファイルシステム上で管理
- 4月末にオープンソースCMSであるEduCommonsへ移行

EDUCOMMONSとは

- eduCommonsはユタ州立大学が、ウィリアム・フローラ・ヒューレット財団の支援を得て、オープンソースCMSであるPloneをベースに開発
- OpenCourseWareに特化したCMS
- 現在は3.2.1が最新バージョンで
- ソフトウェアは、GNU General Public Licenseで配布
- ユタ州立大学での開発は終了、コミュニティーベースでのサポートに移行中 (<http://educommons.com>)
- eduCommonsを採用しているOCWサイトは50前後、日本でも京都大学、筑波大学等が採用している



従来のOUOCW

- 限定的にCSSを用いているが、基本的にPHPコードにデザインに関するHTMLタグも埋め込まれており、管理画面からのデザインの変更は出来ない。
- デザインの変更にはPHPスクリプトを書き換える必要があり、メンテナンス性が悪い。

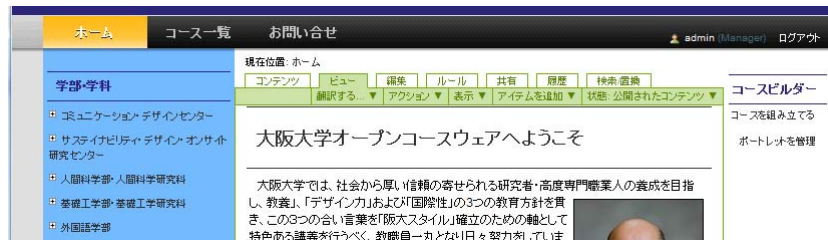
EDUCOMMONS 3.x 版

- デザイン等は外部業者に委託し、大阪大学の公式ホームページ等と統一感を持たせた。
- 構築は外部業者に協力を依頼



EDUCOMMONS 3.x 版 オーサリング画面

- 管理者としてログインすることで、編集に関するタグ等が表示される。
- 基本的にはPloneのよるオーサリングと同等の編集が行える。
- コースビルダーを用いることで、コースの登録が容易にできる。



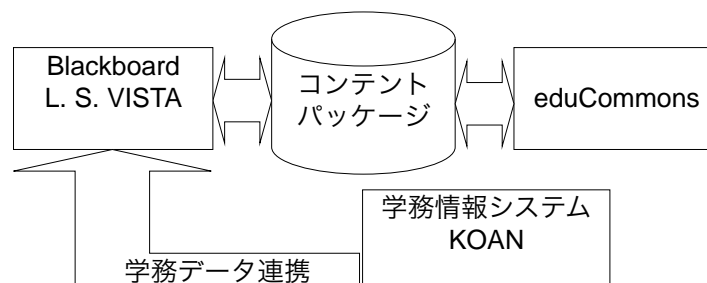
EDUCOMMONS 3.x 版 コースの作成

- コースビルダーでテンプレートに基づくコースが作成される。次に、コンテンツを順次追加する。
- コースサマリに作業の進捗が表示される。

The screenshot displays the course creation interface for '100123 - サンプルコース, 2010年春学期'. The course title is 'Professor X, Ph.D.', the department is 'Department Name', and the institution is 'Osaka University'. The course structure is '90Min classes - ONce a week'. A progress bar on the right shows the course is in the '作業中' (In Progress) state.

他システムとの連携の状況

- IMSコンテンツパッケージを用いて、コース管理システムBlackboard Learning System Vistaとの教材の相互連携を現在検証中



引き続きCOW教材を増やすことを検討

- 全学的な呼びかけ
 - 全学に講義提供の依頼をしてもあまり集まらない
 - 個別に依頼するとうまくいく場合もある
- 公開できる素材を増やす
 - 動画コンテンツを今後増やす方向で検討中
 - echo360（最新コンテンツ：大阪大学の歴史）
 - 講義映像の収録環境の構築
 - CMS上に教材を集めてくる
 - STSによる教材作成支援

大阪大学OCWの位置付け

- 教育・情報室担当
- 全学規模e-Learning環境基盤整備事業の一部
- 教育・情報室担当がよいのか広報・社会学連携室担当が良いのか？
- 正規授業を扱うのであれば、教育・情報室
- 公開講義（サイエンスカフェなど）は広報・社会学連携室

教育情報の公開に関して連携



【5】 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること。（第5号関係）

これらは、大学設置基準第25条の2第1項等において、学生に明示することとされているものであること。その際、教育課程の体系性を明らかにする観点に留意すること。年間の授業計画については、シラバスや年間授業計画の概要を活用することが考えられること。

まとめ

- 大阪大学OCWの変遷と現状について報告した。
- 今後、利用しているコンテンツマネジメントシステムであるeduCommons の機能を活かした他システムとの連携等を考えている。
- 学内の他の社会貢献活動との連携を今後進めていきたい。
- 学内外での認知度を上げるための活動を検討する。

